

報道関係各位

【五節供シリーズ】第2回「留守玲（金工）展と重陽の室礼」

室礼では、長寿をもたらすおめでたい花「菊」尽くし、（掛け軸、和菓子、菊模様の器、菊座瓜 日本南瓜）
 重陽にちなんだお料理が作家の器に盛りつけられ、「直会(なおらい)」（食事会）を行います。

留守玲×山本 三千子

金属造形家

室礼研究家

第二回目となる「重陽」は、長寿を祝う節供です。金属造形家の留守玲さんの作品に、山本三千子先生の「菊尽くし」の室礼が行われ、講座の中では、「盛り菊」を作ります。そのあと、二期倶楽部広尾の料理長による重陽にちなんだお料理が、作家の器に盛りつけられ、冊ならではの「直会(なおらい)」（食事会）を行います。

日本人は古来より四季の恵みを生活に取り入れ、その中で喜びを感じる暮らしをしてまいりました。忘れかけてしまっている花鳥風月を情緒豊かに愛でる感性を呼び覚まし、自然の共生とともにあった日本人のこころのありかたをこのご節句シリーズで、感じていただければ幸いです。

室礼講座と直会開催

- 山本三千子先生の講座と二期倶楽部広尾の料理長による重陽にちなんだお料理を作家の器に盛りつけ、いただく会が行なわれます -

【日 時】9月5日(土)18 - 20時 (受付17時半)

【場 所】ギャラリー冊

【住 所】〒102-0074 東京都千代田区九段南2-1-17 パークマンション千鳥ヶ淵1F

【電 話】03-3221-4220 / fax:03-3221-4230

【参加費】6,000円(税・盛り菊材料費込) 定員20名

【W E B】http://www.satsu.jp/kudan/archives/2009/06/post_64.php

重陽室礼期間

【会期】9月2日(水) - 9日(水)

【休廊】8月17日(月)、24日(月)、31日(月)、9月1日(火)、7日(月)

留守玲さん在庫日:8月11日、9月5日、6日

Profile

留守玲 (るす あき) 金属造形家

1976 宮城県仙台市生まれ

2002 多摩美術大学大学院 美術学部 修了

2002 2005 多摩美術大学工芸学科金属プログラム副手、助手

2004 拡兆する美術 TSUKUBA2004 (茨城県つくば美術館)

文化庁日本文化芸術財団第11回日本現代芸術奨励賞 受賞

2007 素材×技術 からフォルムへ (茨城県つくば美術館)

工芸の力 21世紀の展望 (東京国立近代美術館工芸館)

2008 「KOUGEIの素姿」試論1~回転体について

(ギャラリーヴォイス・岐阜/ギャラリー冊・東京)

その他 各地にて個展、グループ展等多数

山本 三千子 (やまもとみちこ) 室礼研究家

新潟県出身。

南宋瓶華四世、故・田川松雨氏に師事し、室礼を学ぶ。

1995年、室礼三千(しつらいさんぜん)を設立。

日本の年中行事に託された日本人の心について室礼を中心に教え始める。

早稲田大学オープンカレッジ、エコールプランタン他

数々のカルチャースクールで講師を務めるほか、雑誌やテレビでも活躍。

著書

「暮らしの室礼十二か月」(淡交社)

「室礼おりおり」(NHK出版) 他多数

室礼三千 <http://www.shitsurai.com/>

重陽の節供に合わせてアレンジしたお料理をお召し上がりいただけます。

【期 間】9月1日(火) - 9日(水)

【場 所】二期倶楽部広尾

【金 額】10,500 円 税込・サ別

【電 話】03-5466-7899

【W E B】www.nikiclub.jp/hiroo/

- 五節句シリーズ -

工芸作家の作品と、年中行事の五節供の室礼をコラボレーションする企画。日本人が古来より行ってきた「祭り」とは、カミをまつり、もてなす行事でした。お帰りになられた年神さま、ご先祖さまに膳をお供えし、その後家族も同じものを相伴(「神人共食」と言います)します。それにより、神や祖霊のご加護を頂けると考えられていました。各行事で関係するさまざまなものを供え、その後それらを食する形(「直会」と言います)が、行事本来の形です。神、祖霊と繋がり、自然の力をわが身に受ける日本人の美しい文化・風習を学ばせていただくシリーズにしていまいります。

実施イベント

第1回 七夕「松村明那(ガラス)展と七夕の室礼」 (2009年7月5日)

- ギャラリー冊 -

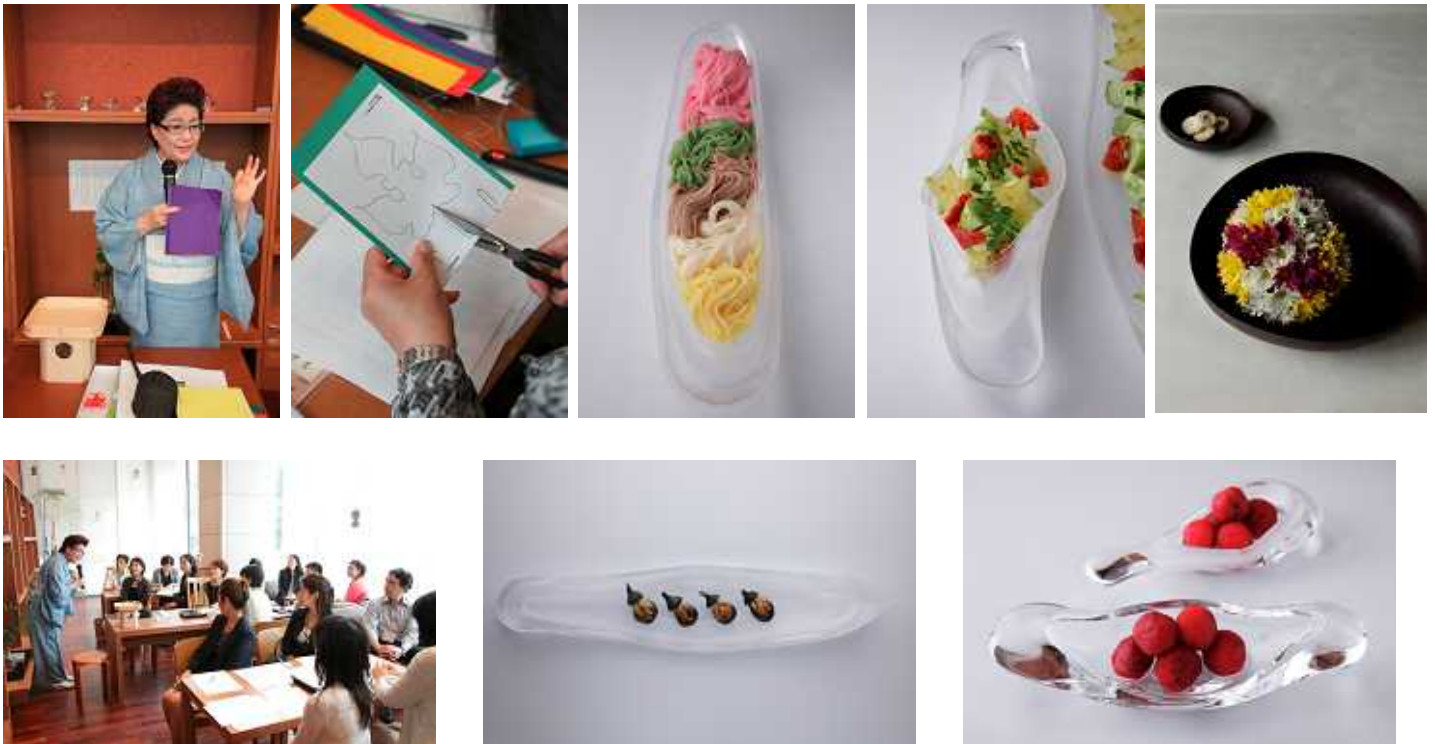
現代ガラスをはじめ工芸を紹介する「コンテンポラリーアートNIKI」の活動に、文庫本を収容する書棚、名づけて「糸宿房」(ししゅくぼう)と、全集を収容する書棚、名づけて「冊集居」(さつしゅうきょ)の二つの書籍空間さらにティールーム「茶・Cha」がくわわったギャラリーです。

書籍編集を松岡正剛氏に、空間設計および書棚インテリアを建築家の内藤廣氏に依頼。ギャラリーの命名は松岡正剛氏によるものです。2007年から、新見隆が顧問キュレーターを務めています。

【M a i l】gallery-satsu@nikiresort.jp

【H P】<http://www.satsu.jp>

- プレス用画像 貸出しリスト -



本資料に関する報道機関からのお問い合わせ

広報窓口:片山亜香梨 (a-katayama@nikiresort.jp)

住所:東京都港区南青山1丁目21番11号 Tel:03-5410-5135/Fax:03-5410-5127